

独自の素材・ソリューションで 人々の暮らしを支えます

長年培ってきた技術を結集し
世の中に「無くてはならない」製品を開発・提供し続けます

世界 No.1 のシェアになるまで成長

1977年に我が国初の板ガラス製造メーカーとして創業。以来、ガラス、電子、化学、セラミックスという幅広い素材と技術で、世界中の人々の暮らしに役立つ製品を提供しています。とりわけガラスと化学の技術を融合した製品には自信があり、現在では自動車用ガラスでは世界 No.1※、スマートフォンのカバーガラスでは世界 No.2※のシェアをいただけるまでになりました。

時代に先行するマーケット視点を重視

自動車、電機、住宅など幅広い産業のお客様の声を直接お伺いすることで、その時代のニーズに合った製品開発を実現してきました。常に世の中や市場の変化を敏感に察知し、時代の先を見据えてマーケットの視点到立ち、弊社の持つ多様性を最大限に活用していきたいと考えています。

その成果の1つが、世界で初めて開発に成功した三次元曲面形状の車載ディスプレイ用カバーガラスです。2017年よりここ京浜工場で製造しているこの製品の研究開発は、実は10年前から取り組んでいました。



世界シェア No.1※の自動車用ガラス

車載ディスプレイ用ガラス



オープンイノベーションの協創空間を提供

お客様の商品サイクルが短くなってきた昨今では、開発～生産までのスピードをあげることが最重要と考え「開発・試作・生産」を一か所に集約させるため新研究棟を2020年、京浜工場に誕生させます。

今後、京浜工場は、新たな価値を生み出すマザー工場、開発拠点としての役割を担っていきます。

この研究棟は今までのようなクローズな空間ではなく、社内外・地域の方にも関わっていただき、時代に先行したニーズをいち早くキャッチし弊社の技術とマッチングできるような空間にしたいと考えています。

弊社と皆様がジョイントし新しいものを生み出していただけるオープンイノベーションの空間として新研究棟を使っていたらと思います。

※AGC株式会社調べ/2016年度概算データ



執行役員 工場長 井上 滋邦 氏

弊社は昨年、旭硝子からAGCに社名を変更いたしました。企業としての発祥は「板ガラス」の製造で、当時「板ガラスの国産化は不可能」とされていましたが、この常識に果敢に挑んだのが創業者の岩崎俊彌です。その常識を覆す精神は「新しい何かを生み出し、プラスの価値を提供していく」という現在の経営方針に繋がっています。

横浜で約100年、地域への貢献を含め価値を創造してきました。今後100年、さらにその先も地域全体の皆様と共にイノベーションを作っていきたいと考えています。

AGC株式会社 京浜工場

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1
TEL 045-503-7100 FAX 045-504-9635
<https://www.agc.com/>

